

公表

事業所における自己評価総括表(放デイ)

○事業所名	子ども発達支援 湊-みなと-		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月1日		令和8年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年 2月1日		令和8年 2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バランスの良い日々の流れでの活動設計 学習・療育・運動・遊びなど、一つ一つにこだわり、メリハリのある支援で利用時間を豊かに過ごす	一つ一つの活動に5領域のテーマを意識して活動設計している	支援プログラムの見直し 定期的に支援プログラムを見直し、子どもたちのニーズや成長に応じた適切な支援を意識する
2	学習支援(タブレット学習・宿題サポート) 学校の学習に対応しつつ個別に進められる点は、学びの継続につなげている	学習の習慣化支援 宿題サポートやICT活用、スモールステップ設計	自立スキルの導入 お金の使い方や時間管理、予定の立て方の指導をより強化していく
3	スキルアップ遊びや自由遊びによる自己理解・社会性発達 折り紙・ルービックキューブなどの遊びを通して、好きなことを見つける時間を設けている	自己選択・自己決定の機会づくり 遊びや活動で自分で選ぶ時間を設け、やりたいことを言語化させることを意識的に行い、役割を持たせる	遊び検定の充実 検定表の他に認定バッジや賞状を作り、達成感の見える化を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者及び家族支援の不足	日々の療育で手一杯になっている 保護者支援が“仕組み化”されていない	保護者支援の仕組み化や保護者と関わる場(保護者アンケートや連絡帳での悩み受付、勉強会等)をつくる
2	職員間での子どもの特性理解のばらつき・共有不足	共有の時間・仕組みが不足している	特性共有シートの導入を検討 強み、苦手、トリガー(不安のきっかけ)、有効な声かけ、NG対応等
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達支援 湊-みなと-

公表日 令和8年 2月24日

利用児童数 25

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				サーキットが出来るくらいの広さがあり、子どもも怪我なく遊べています。	安全に配慮し、子どもたちがのびのびと活動できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				子どもからきれいと言われてます。最高だそうです。	これからも清潔で心地よく、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを大切にまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				特性がある子に対して、着目したプログラムで支援してもらっています。	今後も一人ひとりを大切に、専門性の向上に努めながら丁寧な支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				毎回プログラムが違っており、とても工夫されていると思います。	子どもたちが楽しみながら成長できるよう、内容の充実と工夫を重ねてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	2	こうした機会はあまりないと感じますが、子どもがよい経験となる外出活動を沢山して下さっていると思います。	子どもたちが楽しみながら成長できるよう、内容の充実と工夫を重ねてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	2	4	研修会など、特にない	利用者様にとって有益な情報提供や学びの機会を検討し、充実に努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				子どもの特性を見てくれて、悩んだ際には助言をもらえます。	安心してご相談いただける存在でいられるよう、丁寧な支援を続けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				次年度の学級についても、親身に話を聞いてくださり、的確なアドバイスをしてくれます。寄り添う姿勢が	これからも保護者の皆さまに寄り添いながら、丁寧で的確な支援を心がけてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	6	2	4	4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			SNSで作成され、子どもも楽しみに見てその出来事を話してくれます。	活動の様子や情報を分かりやすくお届けし、ご家庭とのつながりを大切にしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	特に怪我がないので、あった場合はお知らせをしてくれると思います。	万が一事故や怪我が発生した際には、速やかにご連絡し、状況を丁寧にご説明いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				疲れたりした時は休憩したり家のようにつろいでいる姿もあるので、ほっと出来る場所であると思う。	ほっとできる居場所であり続けられるよう、安心できる環境づくりを大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				お友達やスタッフの方の名前が出て、その日の出来事をたくさん話してくれます。	これからも子どもたちが「楽しかった」と思える時間を大切にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				プログラムも毎回変化があり、長期休みもイベント企画して、子どもの特性に応じた支援があり感謝しています。	プログラムの工夫や長期休みのイベントも含め、一人ひとりを大切にしながら、より良い支援を目指しています。

公表 養所における自己評価結果

事業所名		子ども発達支援 湊-みなと-				公表日	令和8年 2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	そうでない場合もあると思う	シフト体制の見直しと事前共有を徹底します。あわせて業務効率化を進め、現場の負担軽減に努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	7	1	さらにエリアが細かく分かれていた方がよい	活動内容や目的に応じてエリア分けをより明確にし、視覚的にも分かりやすい環境づくりを進めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	イレギュラーな事態を想定したエリア作りになっていると助かる	個別で落ち着けるスペースの確保や環境設定の見直しを行います。安心して過ごせる体制づくりを強化してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	まず情報共有を行う場を設けてほしい	職員間で情報共有を行う定期的な場、方法を検討します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	PDCAがまわっているかどうかを確認できる場がない	保護者評価の結果や改善内容について共有する機会を設けられるようにします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		情報共有されていないので不明	支援計画の作成過程や内容について、関係職員へ共有する仕組みを整えます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		色々な遊具（創る、考える、決断する、共に遊ぶ）を個々に選択し、遊ぶことを通して先を見通すことや、創造性が育成されている	遊びを通じた「本人支援」の充実を引き続き図り、より一層創造性や見通しを持つ力の育成が、家族支援や地域連携の視点にもつながるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	7	1	急な変更等知らされていないスタッフもい る場合があり、戸惑っている時もある。	情報伝達方法を見直し、チームで円滑に連 携できる体制を強化します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	必ずかは不明	支援終了後の振り返りを確実に実施できる よう、振り返り内容を共有し、継続的な支 援の質向上につなげます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせで支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	7		不明	卒業後の移行支援について、情報提供の流 れや内容を職員間で共有できるようにして いきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		不明	必要に応じた助言や研修機会を設け、その 内容を職員間で共有し、専門性向上につな げます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	5	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		不明	協議会等への参加状況を整理し、参加内容 を職員へ共有し、事業運営や支援の質向上 につなげます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	不明	家族支援プログラムや研修の実施状況を整 理し、ご家族の対応力向上につながる体制 を整えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	ハロウィーンの日近所への訪問を通して交流を行った	地域との交流の機会を継続して設けていきます。今後も地域に開かれた事業運営を意識し、つながりを広げていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2				